

# Let's 防災! いろいろはかるた



今回は、東京都千代田区内にある防災専門図書館の職員の方々が作成した、「防災いろいろはかるた」をご紹介します。防災に親しみながら学べるよう、「ことわざ」をもじって考案されており、全国各地の図書館や学校、地域の防災イベントなどの展示に活用されています。

本誌では、読者の皆さまにお馴染みのイメージキャラクター「サイまる」「クック」「ふくすけ」とともに、災害への備えについて考えてみましょう。(下段に元のことわざの解説があります)

① プラグ **ぬ**れ手に

濡れた手で電気製品に触れると危険です。感電に注意。

② たんす **目**の上の

家具は地震で倒れないように、固定を。

③ ものを言う **笛**は口以上に

助けを呼ぶとき、叫んでは体力を消耗します。笛をかばんに常備しましょう。

⑦ 待たれよ **長**い揺れには

地震! 慌てて外へ飛び出るより、机の下へ(建物倒壊の恐れがある場合はその限りではありません)

⑧ 得る **9**日 **3**日

ひとり1日3リットルの水×3日分は備蓄しましょう。できれば1週間分を。

⑨ ハンカチ **臭**い煙には

火災では煙・有害ガスが発生します。口・鼻をハンカチで覆って避難を。

④ かけ **寄**らず大樹の

背の高い木は落雷の危険性が高いため、離れて建物内などに避難しましょう。

⑤ 行 **論**より **行**動

準備をしなければ、と考えるよりも行動を。

⑥ 壁 **間**に **入**って **は**壁に **従**え

停電や煙で視界がゼロになったとき、壁を伝って避難しましょう。

## 元のことわざの解説 三省堂『例解小学ことわざ辞典』より引用・編集

- ① 濡れ手で粟  
濡れた手で粟をつかむとたくさん粟粒がついてくることから、苦労しないで簡単に多くの利益を得るとえ。
- ② 目の上のたんこぶ  
自分よりも地位や力が上で、目障りで邪魔になるものたとえ。
- ③ 目は口ほどに物を言う  
感情がこもった目つきは、口で話すのと同じようにその人の気持ちを伝えるということ。

- ④ 寄らば大樹の陰  
日差しや雨を避けるために身を寄せるならば、大きな木のほうがいいことから、同じ頼るならば、力のあるしっかりした人や組織に頼るほうが安心だということ。
- ⑤ 論より証拠  
ものごとを明らかにするには、あれこれ議論するより証拠を示したほうがよい。
- ⑥ 郷に入れば郷に従え  
その土地に行ったら、その土地のしきたりに従うのがよい。

- ⑦ 長いものには巻かれよ  
権力や勢力のある人には、不満があっても、逆らうよりは従ったほうが得であるということ。
- ⑧ 九死に一生を得る  
ほとんど助かる見込みがないのに、やっとのことで命が助かるということ。
- ⑨ 臭い物に蓋をする  
いやな臭いの元になるものを捨てないで、蓋をしてにおいが外に漏れないようにするよう、不正や行いや失敗などをただ人に知られないように、その場しのぎで隠すことのとえ。

## 防災専門図書館

防災専門図書館は、災害・防災・減災などに関する資料約17万冊を所蔵する専門図書館です。どなたでも利用できます。企画展「安政東海・南海地震から170年(仮)」10月下旬開催予定!

【お問い合わせ】  
公益社団法人 全国市有物件災害共済会 防災専門図書館  
東京都千代田区平河町2-4-1(日本都市センター会館8階)  
電話 03-5216-8716(平日9:00~17:00)

「防災いろいろはかるた」(全45枚)は、防災専門図書館ホームページからご覧になれます。

